

教 区 ニ ュ ー ス

三重地区
信徒大会

三重県の壮年会、婦人会、青年会の活動の指導を、司教様は、地区長のザン師に依頼されている。

昨秋九月二十九日には、三重地区の司教十余名が集まり、話し合った結果、信徒大会を開催することに決まり、その準備委員として、ボーソレー師、徳久師、ブロードニア師が選出された。

準備委員は、早速県内の主任司教と各教会の壮年会、婦人会、青年会宛に手紙を送り、信徒代表と話し合いの準備を始めた。

司教、信徒（各会の代表）から成る大会委員は、計画を練り、各教会の各会に計画書を送って、その意見を求めた。

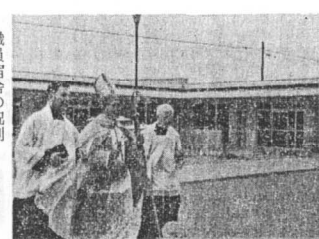
このようにして、「御国の来たらんことを」のテーマのもとに、今年の十一月一日諸聖人の祝日に、信徒大会が開かれることになった。

三雲カトリック
児童園職員宿舎

去る三月二十二日、かねて建築中であつた三雲三雲カトリック児童園の職員宿舎の落成式が古屋司教司式のもとに執り行なわれた。

約四十名の来賓と信者、職員などが集り、祝別の儀のち、設計者、東京親建会市野、施工者、津市流沢工務店にそれぞれ感謝状が授与され、続いて業務担当司教ローバート・R・ザン師から「同園は、昭和四十年十一月に開設され、現在収容児童五十九名で、職員二十六名がその業務に當っている。手足が不自由であつて、精進を伴う園児を世話する施設は、当初から職員宿舎が必要ではが、創立当時は、そこまで手が届

来賓祝辞では、三重県民生部村林次長が、創立頭初のリオ・スタインバック師の愛徳の熱心さを賞賛、同次長自身この施設の創設に當つて、苦勞した思い出を語り、話された。また三雲親建会福祉協議会三谷会長も老令をおして出席、社会福祉面で最も立ち遅れていた心身障害児に尽された神父、修道女、職員に敬意と信頼の情を語られ、地元村協議長も、この施設の発展に協力を約束された。



職員宿舎の祝別
ザン師、司教、ザン師

京都北地区
故フアースト師
九年忌

西舞鶴教会

以前、舞鶴地方で活躍され、九年前に亡くなられた故フアースト師の追善の故、万國博覧会を兼ねて墓参のために来日されたのを機会に、四月十九日の午後、西舞鶴教会において、同師の九年忌が行なわれた。

京都南地区
九条教会
共助組合紹介

一昨年春、ゴールマン神父とビンセンソ神父が中心となり、共助組合の研究を始めた。

昨年四月、九条教会に四十三人の組合員より、共助組合が正式に発足。本年二月現在、出資総額は六十万円を超え、組合員に対する最高貸付限度も六万円、貸付総額は約

スラ修道会などのためのものであつて、私は理事長として、いつもこれらの方々から心から感謝されている」との意味の挨拶があった。（川口徳太郎記）

二十五万円と順調に発展を続けています。

私たちの日常生活において、少しづつでもお金が必要になることがよくあります。そんな時、簡単に現金が都合出来たは大変助かります。共助組合は、そのような目的に結びつた組織です。同じ信仰に結ばれた組合員が、少しづつ出来るだけ定期的に貸出に供出してくれて、いつでも必要に応じて、最高は組合の出資総額の二割までの貸付を受けられるのです。

返済は僅かの利息・九条の場合、貸付残額に対し月一分に決めていますが、共に最も高二十回の分割払いで行ないます。こうして運用された出資金の利息は、年度末に各組合員にその出資金に応じて配当が行なわれます。

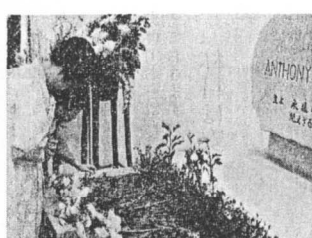
この共助組合は約百年前、飢饉に苦しんだドイツのある町で、お互いの助け合いによる経済的自立を目的として発足したものでありますが、今では全世界に広がっています。日本でも上智大学内に連合会本部を置き、全国に二十数組合が出来ています。京都では、希望の家に早くから組織され、大きな成果を上げてきました。

滋賀地区
故A・カロヴィ
チウス師記念碑
の除幕式

滋賀県途中にあるカトリック韓国入道地にあるカトリックが建立され、去る四月九日に、その除幕式と、一周忌追悼ミサが行なわれた。

この記念碑は、京都の韓国入道地カトリック・センターの創立者である故アントニオ・カロヴィチウス師（メリノール会員）を偲んで建てられたものである。

同師は、一九二一年六月十三日に米国シカゴで生まれ、一九五十年に来日されてからは十七年間にわたって京都在



記念碑の前での祈り

れるのです。

返済は僅かの利息・九条の場合、貸付残額に対し月一分に決めていますが、共に最も高二十回の分割払いで行ないます。こうして運用された出資金の利息は、年度末に各組合員にその出資金に応じて配当が行なわれます。

この共助組合は約百年前、飢饉に苦しんだドイツのある町で、お互いの助け合いによる経済的自立を目的として発足したものでありますが、今では全世界に広がっています。日本でも上智大学内に連合会本部を置き、全国に二十数組合が出来ています。京都では、希望の家に早くから組織され、大きな成果を上げてきました。

住の韓国人のために働かれた。特に韓国人としての民族精神を失わぬように導き、生活を向上させ信仰を深め、よい社会人となるように尽力された。

貧しい韓国人への救済活動、韓国人同士の結婚、就職の世話、その他他範囲にわたる活動によって、相互協力の重要さを教へつけられた。同師は多くの韓国人から慈父のように慕われ、感謝されていた。

韓国入道者と共に土ほこりにまみれながらつくられた韓国入道地に自分の記念碑が建てられたことを同師は喜んでおられることだろう。

団地内に幼稚園

大津市瀬田神領町宇戸の団地内に、瀬田カトリック幼稚園（園長はスミス師）が完成し、四月十日、古屋司教によつて祝別式が行なわれた。

約千八百平方メートルの敷地内に五百五十平方メートルの平屋建ての近代的な園舎が建てられている。

大津教会

現在、二年保育三十八名、一年保育十二名、計五十名の園児が通園しており、そのほとんどがサラリーマンの家庭

私たちが九条教会のSVP会がこれを探り上げたのは、洗礼により霊的に兄弟として結ばれた信者同志が、経済面においても、お互いに助けあふことが、特にSVP会の精神にぴたりと感じたからでした。

僅かの紙面ではなかなか伝え切れませんが、いつかまた機会を戴いて、もっと具体的な説明をとお考えしております。

なお、御希望がございましたら、いつでも説明に向かひ出されて戴きますから御遠慮なく御連絡下さい。（藤田博記）

連絡先
京都市南区唐橋川久保町十
九条カトリック教会
共助組合

の子供で、全体の半数以上は団地に住んでいる。

園児の保育には、二名の先生があたっており、またグルコ師とシスター・エリスが講師をつとめておられる。

毎月の第三土曜日には、園児の父兄を対象に、教育の話やキリスト教の話がなされることになっている。

奈良地区
切支丹
流配の碑建立

大和郡山教会の庭に「切支丹流配碑」が建てられている。

慶応年間浦上信徒流配が行なわれたが、そのうちの八十六名がひとまず大和郡山の禪寺・雲幻寺に収容された後、やがて各所に移されて改心を求められた。明治六年四月に釈放令が下り、一同帰郷の途に着いた。

この流配中に殉教した六名の墓碑が、雲幻寺境内の墓地の一角に建てられていた。この墓碑には、大正十五年七月建立との刻まれている。建立者は流配信徒のために尽されたバリエオン師であると推測されている。

一九六九年、浦上信徒流配百周年を記念して、その墓碑を雲幻寺の墓地から郡山教会の境内に移し、そこに写真のような記念碑が完成した。

十一月二日には、流配の苦しみ耐え抜いた信徒の子孫（長崎から四十名、名古屋から十五名、大阪から三十名、郡山教会の信者、奈良県各教会の信者代表など約三百名）が参列して記念碑の除幕式が行なわれた。



大和郡山教会の庭に「切支丹流配碑」が建てられている。

団地の中の瀬田幼稚園

なお、この建物には、瀬田地区の信者のための部屋もあり、将来は、瀬田カトリックセンターとして、教会の設立も考えられている。

学生書道展に入選

彦根教会

昭和四十五年、第四回カトリック全国学生書道展に、彦根教会の土曜学校生徒が入選した。

彦根教会

八四二一〇三